

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ふりーくらぶ千本教室			公表日		2026年3月19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもの人数や活動内容に応じて配慮しています			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に沿って配置しています			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関・トイレに手すりを設けており、室内もバリアフリーです			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子ども達が通所する前に空気の入替えや消毒、清掃、安全確認を行っています			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンのスペースなど、必要に応じて個別のスペースを設けております			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に課題・検討会議を実施し、業務改善に向けて話し合っています			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談を通じて保護者様が意見を伝えやすいよう配慮しています			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		責任者と職員で定期的に面談を行い、業務改善を図っています			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		他事業所との研修や交流の中で指導や改善のヒントをいただいています			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に職員研修を行っており、外部の研修にも参加できるよう計画を立てて取り組んでいます			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に作成・公表できております			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者面談を通して得られたニーズを分析し、放課後等デイサービス計画を作成しています			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画を作成する際は職員全員で意見を出し合い、検討を行っています			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画が職員間で共有されており、支援することができています			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人内で決まったアセスメントツールを使用したり、子どもの行動観察について話し合っています			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心として、ガイドラインに示してある項目を確認しながら支援しています			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員でプログラムを作成し、意見をくみ取りながら実施しています			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子ども達にあったプログラムを作成し興味や関心を惹くよう工夫しています			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	支援計画に基づいて、個別・集団療育を組み合わせ取り組んでいます	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	利用する子ども達の療育内容・支援の流れを職員全員で確認し、共通理解のもと支援しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	振り返りや連絡事項等を確認し、記録しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援計画に基づき支援し、記録しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	保護者の面談を通して支援の達成度や満足度の把握を行い、方向性を確認しています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	「4つの基本活動」をもとに、日々の活動を考案しています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	創作活動等を通して子どもたちの自己決定の機会を作っています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者および管理者が参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じ、関係機関と連携をとる体制を整えています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校へのお迎え時等を中心に、学校のできごと等を共有してもらっています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	就学前に利用していた児童発達支援事業所と、必要に応じて情報共有を行っています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	該当する利用者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	必要に応じて情報共有を行い体制を整えています	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	基本的に事業所内で完結する活動を行っています	グループ内他事業所との連携を含め、学校長期休暇期間等に検討します
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	できていません	今後定期的に参加できるよう検討します
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	送迎時や連絡帳を通じて日々の様子をお伝えしています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	学習に関することを中心に子ども達の成長に役立つ情報をお伝えしています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約書や重要事項説明書の説明を丁寧に行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	保護者面談等を通じて本人の意向・保護者の意向を確認しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	説明を丁寧に行い、保護者の同意を得ています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご家族の要望があれば面談を行い支援しています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	定期的には保護者同士で交流できる機会を設けることはできていません	要望等に応じて今後体制を整えていきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情があった際は、保護者に経緯等をご説明し、再発防止策と併せてお伝えし迅速に対応しています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月のお便りを通して活動内容を保護者にお伝えしています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	外部への持ち出しが無いよう留意しつつ、施錠できるロッカーに保管しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	筆談やジェスチャー等を通じて情報伝達・意思の疎通を行っています	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	ハロウィン会で近隣の方に協力を仰ぐなど機会を設けています	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを整備し、研修を通して職員への周知を行っています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	定期的に避難訓練を実施しています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時に子どもの状況を確認し把握しています。また、緊急連絡先や対応についても連携し確認を取っています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時に確認し、おやつなどの提供時はダブルチェックで対応しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画に基づき研修や訓練を行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時、面談時等に非常時の対応について説明を行っています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	事例集を作成し、会議では時間帯や傾向、対応策等を分析しています	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	研修会を実施し、職員でハンドブックを活用し読み上げや対応検討等を行っています		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	身体拘束は行っておりません		